

令和4年度 和泉中央地区地域福祉保健計画活動推進委員会

日時：令和4年11月29日（火）

午後6時～午後7時30分

場所：泉区役所4階4ABC会議室

司会：事務局 山村 芳雄

次 第

1 開会のことば

事務局 山村 芳雄

2 あいさつ（敬称略）

- ・和泉中央地区地域福祉保健計画推進委員会委員長
- ・和泉中央連合自治会会長
- ・和泉中央地区民生委員・児童委員協議会会長
- ・和泉中央地区社会福祉協議会会長
- ・横浜市立中和田中学校校長

笠井 尚子

佐藤 愼

山田 一光

辛島 直恵

永島 靖之

3 第4期和泉中央地区地域福祉保健計画について（資料1）

事務局 西郷 勤

4 「いこいの家について 活動発表」（資料2） 12月日

発表者：辛島 直恵

京増 房枝

5 各グループで意見交換

6 各グループから、感想を一言

7 閉会のことば

副委員長 柴田 誠

合算 1,650円

誰もが楽しく安心して暮らせるまち

～元気が出るまち、和泉中央を目指して～

※「地域福祉保健計画」は、地域の課題を地域で解決し、地域の支えあいによってだれもが安心して生活できるまちをつくるための計画です。

目指すまちの姿

気軽に交流できる
機会・場があるまち

お互い助け合い
支え合うまち

みんなが健康で
楽しいまち

地域の担い手が
育つまち

基本理念 人と人のつながりを大切にし、支え合えるまちづくり

和泉中央地区の現状

今後5年間の人口は緩やかに減少していく傾向にあります。また40歳代をピークに60歳代後半の年齢の方も多く住んでいますが、75歳以上の後期高齢者の増加も続き、高齢者のみ世帯、単身世帯なども増えるなか、地域活動への参加をためらう傾向が高まってきています。

私たちは、人とのつながりが希薄化するこれからの時代を迎えるにあたり、これまで以上に近所どうしで支え合いを強めると同時に、地域社会の中で人とのつながりを大切にした活動に真剣に取り組んでいく必要があります。

和泉中央地区の地域活動のあゆみ

第3期計画(H28～R2)策定時の地域の特徴と課題

○高齢化が進むとともに高齢者所帯、一人暮らし所帯の増加

課題 居場所づくり、支え合い活動、見守りネットワーク、健康づくり

○いずみ中央駅周辺のマンションの増加に伴う若い世代が増え、子どもの数が増えている。

課題 子育て支援、青少年の健全育成、地域の教育力の活用、子供会活動の停滞

○地域連帯意識、ふるさと意識が希薄になりつつある

課題 世代間交流の推進、地域行事への参加、町内会活動の活性化

○都市化が進展している

課題 安心、安全、清潔な「まち」づくり
高齢者や障がい者が暮らしやすい「まち」づくり

地域活動の取組と成果(第1期～3期をとおして)

居場所づくり 身近な居場所が増え、交流の場が広がりました

- 「いこいの家」(H21～):誰もが気軽に立寄れる交流の場。
- 「高齢者サロン」(H16～):11自治会・町内会で開催。
- 「十日会」:30年の歴史をもつ一人暮らし高齢者向けの食事会。

支え合い、見守り 助け合い、新しい見守り活動が生まれています

- 「ふれあいヘルプ」(H24～):手助けが必要な高齢者への助け合い活動。
- 「新しい見守り活動」(H26～):地域の協力による、高齢者見守り活動。

健康づくり 身近で参加できる教室が増えています

- 「体操教室」(H19～):9自治会・町内会で開催。(中央地区4教室)

子育て支援、青少年の健全育成、地域の教育力 活動が広がっています

- 「子育てサロン」(H18～):子育て中のお母さん方の交流の場。
- 「和泉川クリーンアップ」:大人と共同の清掃活動は、子どもが地域を見つめ直す機会となっている。

*青少年の健全育成、地域の教育力の活用は、連合自治会、各自治会・町内会、学校との連携で進められてきている。(子どもの居場所づくり、ハマロード等)

世代間交流の推進、地域行事への参加 交流の場が広がりました

- 「ふるさとまつり」(H21～):地区最大、多世代交流の場として定着。
- 「さくらまつり」(H24～R1):小中学生の成長を祝って卒業生を招待。

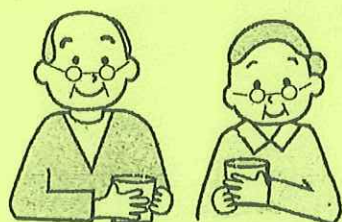
*各自治会・町内会で、交流のために、年間をとおし多くの行事を実施。

安心・安全な、高齢者 障がい児・者も暮らしやすいまちづくり

- 安心・安全なまち:連合自治会、各自治会・町内会活動(防犯パトロール 等)
- 障害者施設との交流:各自治会・町内会行事への参加。(お祭り、防災訓練 等) 地区社協との定期交流、散歩の会 等。

ふれあいヘルプ

和泉中央地区社会福祉協議会



介護保険は使えないけど
困ったわ～

**おおむね30分程度で出来ることをお引き受けします
困りごとはありませんか？**

例えば(作業例)

- | | |
|-------------|---------------|
| ◆ごみ出し | ◆庭の草むしり |
| ◆掃除機掛け(休止中) | ◆庭の芝刈り |
| ◆風呂掃除 (休止中) | ◆庭の掃除・枯れ葉の収集等 |
| ◆窓拭き (休止中) | ◆庭木の枝切り(低木のみ) |
| ◆洗濯物干し(休止中) | ◆花の水やり |
| ◆電球の交換 | ◆買い物付き添い |
| ◆雨戸の開閉 | ◆その他 |

(新型コロナウイルス感染拡大防止の為室内作業等は休止中です)

対象者(和泉中央地区内にお住まいの方)

- ◆おおむね65才以上
- ◆高齢者世帯
- ◆公的サービスの利用が出来ない方
- ◆ひとり暮らしの方等
- ◆その他ご相談に応じます

30分以内の1作業 担当者 1人あたり 500円

15分以内の1作業 担当者 1人あたり 300円

《問い合わせ先》

・ いこいの家 : 090-6701-1728

11:00~15:00 月~金曜日(土日祭日・お盆・年末年始を除く)

一緒にボランティア
しませんか？
月に3~4回楽しく
活動しています。



★活動して下さる方募集中！ 是非お問い合わせ下さい。

～この事業は共同募金、和泉中央地区社会福祉協議会賛助会費助成金をうけ実施しています～

気軽に立ち寄れる場所 「いこいの家」

散歩や買い物の途中にちょっと一息！！

お茶を飲みながらおしゃべりしませんか♪

おいしいCoffeeもあります。

どなたでもご利用できる地域のいこいの居場所です！

《ふれあいのつどい主要内容》

- ★麻雀教室（第1・第2土曜日 10時～12時30分）
- ★囲碁、将棋（第2・第4火曜日 10時15分～12時30分）
- ★音楽療法（第3水曜日 10時30分～11時30分）
- ★イベント（一緒にランチ・端午の節句・七夕・クリスマス・ひなまつり）

《各種事業の主要内容》

- ★レンタルボックス（手作り小物の展示、販売）写真、絵画の展示
- ★包丁とぎ（偶数月、第3火曜日）申し込み制
- ★部屋の貸し出し（閉館時間帯を貸し出します）趣味の会、打ち合わせ等
- ★ふれあいヘルプ（日常的なちょっとした困りごとのお手伝い）草取り・ゴミ出し等

～ハマハグの協賛店～



赤ちゃんのおむつ交換やミルクのお湯を提供しています。

～認知症サポーター～

いこいの家のスタッフは認知症の方を温かく見守ります。

いこいの家 ☎090-6701-1728

開館日時：月曜日～金曜日（祝日除く）《10時～16時》（6月～9月は17時）

第1・第2土曜日《10時～12時半》

第3日曜日《10時～16時》「にちようカフェ」

★利用料：100円

ファミリーマート

至いずみ中央

中和田小学校

歩道橋



至立場

運営

和泉中央地区社会福祉協議会
和泉中央地区民生児童委員協議会
和泉中央地区連合自治会

和泉中央地区

どなたでもご利用いただける
地域の皆さんのための居場所

いこいの家オープン中！

月曜から金曜の平日 下記時間帯オープン

※当面の間 麻雀・囲碁、一緒にランチなどのイベントはお休みします。

☆オープン時間（当面の間）

午前 11：00～12：30

※消毒等を行いますので、一度退室をお願いします。

午後 13：30～15：00

☆利用料（運営協力費）は1日100円



美味しいコーヒーとお茶（ホット&アイス）を用意しています。

現在、室内で食事、おやつを食すことはできません。

～新型コロナウイルス感染予防対策～

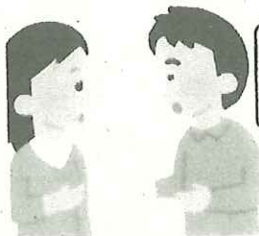
- * 室内換気を徹底しています（網戸設置、空調等）。
 - * 入室時には体温測定、マスクの着用、手指消毒等お願いします。
 - * 万が一の場合に備えて、お名前と連絡先を教えてください。
（伺った個人情報感染が疑われた場合にのみ、横浜市等へ提出します。）
- ※3密を避けるために入室制限を行う場合がありますのでご了承ください。

いこいの家運営委員会/和泉中央地区社会福祉協議会

「新しい見守り活動」のご案内

和泉中央地区では、地域の見守り・たすけあい活動として、
「新しい見守り活動」を行なっています。

時々、気にかけてくださる方が
いたらいいわよね…



身の回りのことは自分でできるけど、
なにかあった時に、心配だな…

「新しい見守り活動」は、このような声にもお応えができます！
住民が行なっているさりげない見守りですので、気軽にご利用ください。

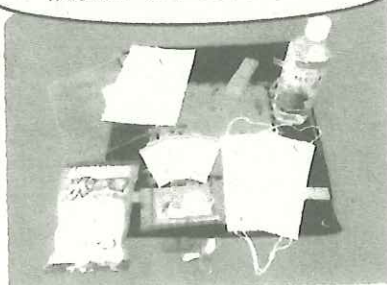
◇見守りの対象となる方

- 75歳以上で、①二人暮らしの方（二人とも75歳以上）
②昼間、一人暮らしになる方（同居のご家族がいても）
※ お元気な方も、①または②に当てはまる方は対象です。

◇見守りの方法

- ・和泉中央地区に住むボランティアの住民が、ご本人とお会いしたり、
お電話でご様子を伺ったりします（年数回程度）。
- ・初めに、災害時に役立つ「防災グッズ」の入った袋をお渡しします。

防災グッズについて



【 防災グッズの中身 】 懐中電灯、笛、水、氷砂糖、
ウェットティッシュ、安心カードなど

※二人暮らしの方は、二人で一袋です。
※最初にお渡しする防災グッズは無料ですが、後日交換や補充の
必要なものについては、実費（100～200円程度）をいただきます。

《見守りを希望する方へ》

対象となる方で、見守りをご希望される方は、
下記あてに、お申し込みください。

◇申込・問合せ先

いこいの家（辛島・京増）

電話：045-435-9344

いこいの家にもぜひお立ち寄りください



“常設サロン” 令和4年度

「いこいの家」サポーターのお願い



運営：和泉中央地区社会福祉協議会

会長 辛島 直恵

★「いこいの家」とは・・・

2009年10月、高齢者の見守り拠点として開設。高齢者のみならず、赤ちゃん連れのお母さん、障がいのある方など、地域の方々が気軽に立寄り交流できる居場所として事業を展開、多くの方々がお互いつながり支え合う中で、皆さんにとって住みよい街になることを目指しています。(写真はコロナ禍以前のものです)

＜主な事業＞

ふれあいサロン、一緒にランチ、レンタルボックス・ギャラリー など



「いこいの家」の運営にあたっては、独自事業による収入、各種助成金等の活用で最大限の努力をしておりますが、地域みな様にもぜひ、サポーターとしてお力添えをいただければと思います。

★サポーター費用（賛助金）：1口 1,000円（年間） ＊複数口 歓迎

★申込方法 ： 「いこいの家」で受付けています。

【問い合わせ先】

いこいの家 ☎ 090-6701-1728
<http://network.shakyo-ly.or.jp/partner/ikoi/index.html>

